

## 1 入札妨害事件再発防止策の課題について

- (1) 磐田市議会は8月19日、渡部修市長に「公契約関係競売入札妨害事件に対する申入書」を提出した。3項目の申し入れについてどのように受け止めているか。また、今後の再発防止策についてどのように反映させていくか、伺う。
- (2) 職員実態調査結果報告書には多くの貴重な意見が寄せられ、現在の職場環境などの実態を知る上でたいへん参考になるものである。職員実態調査結果報告書を今後の再発防止策にどう活かしていくか。また、職員実態調査結果報告書に記載されていない内容についてはどのように対応したか、伺う。
- (3) 市民への公表方法は。また、市民からの意見、要望についてはどの程度把握しているか、伺う。
- (4) 元都市整備課長は退職した前副市長に対して「上司は絶対である」「お世話にもなった」と述べ、「断ることができなかった」と裁判で答えていた。特殊な影響力をもった関係について、どのように認識しているか、伺う。
- (5) 職員実態調査結果報告書では、コンプライアンス上の問題で発生する要因として「業務の繁忙」と答えた職員が10.7%となっている。職員削減による影響をどのように認識しているか、伺う。
- (6) 事業所アンケート調査結果報告書でも多くの意見が寄せられている。今後の再発防止策にどう活かしていくか。また、事業者に対するヒアリングを行う考えがあるか、伺う。
- (7) 事業所アンケート調査の意見等から、入札制度について改善すべき検討課題があったか、伺う。
- (8) 磐田市再発防止対策本部がこの間行ってきた調査に対する評価、今後取り組むべき課題、スケジュールを示されたい。

## 2 高齢者の安全・安心、社会参加を促すまちづくりを

(1) 2019年4月の池袋暴走事故など高齢ドライバーによる痛ましい事故が相次ぎ、大きなニュースとなっている。こうした中で運転免許証を返納する人が増えている。一方で「免許証を返納しようにも買い物や病院にいけなくなる」という切実な声も寄せられている。以下、磐田市の課題について伺う。

- ① 磐田市内高齢者の交通事故発生状況と運転免許証自主返納者数の状況は。
- ② 高齢者の事故対策や運転免許証自主返納者に対する市の支援策について伺う。
- ③ 高齢者の安全対策として「衝突被害軽減ブレーキ」やペダル踏み間違い防止対策など安全運転システムの購入支援に取り組むべきと考えるが、見解を。
- ④ 「自主返納者」へのバス、タクシーの運賃割引、無料化など、市の支援策を充実させるべきと考えるが、見解を。
- ⑤ 運転手不足による退出路線があり、公共交通機関の課題となっている。バス路線の空白地域に、代替路線の対応として「デマンド型乗合タクシー」の拡充策を図るべきと考えるが、見解を。

(2) 高齢者の補聴器購入に対する公的補助に強い関心が寄せられている。補聴器が高齢者の社会参加の必需品でもあり、公的補助は時代の要請でもある。高齢者の補聴器購入に市の補助制度をつくるべきと考えるが、見解を。また、市議会の市民団体の請願審査において、当局は「情報収集に努める」としていた。この間の調査状況を明らかにされたい。

### 3 行政の諸課題について

- (1) 心が通い合い、市政への信頼感、まちづくりへのきっかけとなるタウンミーティング開催の実施で開かれた市政を推進すべきと考えるが、見解を。
- (2) 2018年11月市議会の一般質問でとりあげた公契約条例の制定について、「今後、周辺自治体の状況も確認しながら一度調査したい」との市長の答弁があった。これまでの調査状況を明らかにされたい。
- (3) 政府の「自治体戦略2040構想」は、人工知能（AI）等の活用で従来の半分の職員でも運営できる自治体をつくることを目指しているなど、問題点も多い。磐田市の人工知能（AI）の活用分野、コスト、今後の取り組みについて伺う。
- (4) 総務省が地方公務員・独立行政法人等職員やその被扶養者に、情報漏洩やプライバシーを侵害する恐れがあるマイナンバーカードの取得を強要しようとしている。あくまで個人の選択に任せるべきではないか、見解を。また、被扶養者を含めた全体の対象者をどのように見込んでいるか。現在の市職員の取得状況について伺う。